

「3」次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

【原文】

これも今は昔、あながのち^アこの、比叡の山へ登りたりけるが、桜のめでたく咲きたりけるに風のはげしく吹きけるを見て、このちにめざめと泣きけるを、見て^①、僧の、やはら^A寄りて、「など、かうは泣かせたまふぞ。この花の散るを惜しう覚えさせたまふか。桜は、はかなきものにて、かくほどなくうつろひなむなり。されども、このみぞ^②はなむなり。」と慰めければ、「桜の散らむは、あながちにい^Bがせむ。苦しからず。わがての作りたる麦の、花の散りて麦のいらむ^③む、思ふが、わびしき。」と言ひて、さくりあげてよよと泣きければ、うたてしやな。

【現代語訳】

これも今から言うとき昔のことだが、田舎のちで、比叡山に登っていた子が、桜が見事に咲いていたところに風がはげしく吹いたのを見て、このちはめざめと泣いたのを、見て、僧が、（寄つて、「どうして、こんなにお泣きになるのですか。この花の散るのを惜しくお思いなさるのですか。桜は、はかなきもので、このようにすぐに移り変わってしまうのです。けれども、それだけでございます。」と慰めたところ、「桜の花が散るようなことは、無理にくりあげて大声に泣いたのは、興ざめなことだなあ。

問一 破線部ア「ゐなか、イ」さななについて、それぞれ現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

問二 二重傍線部A「やはら」、B「いかがせむ」の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をぬりつぶしなさい。

A 「やはら」

- ① 驚いて ② すぐに ③ そつと ④ 心配して

B 「いかがせむ」

- ① どうしようもありません ② どうしましょうか
- ③ どうにかしましょう ④ どう思いますか

問三 傍線部①「見て」とは、だれが見たのですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号をぬりつぶしなさい。

- ① ちい ② 僧 ③ ちこの父 ④ 作者

問四 傍線部②「さのみぞさななみ」の「さ」の指している部分を、本文中より一文で抜き出し、最初の五字を答えなさい。ただし、句読点は一字を含む。

問五 傍線部③「うたてしやな」について、次の問いに答えなさい。

(1) だれの立場から「うたてしやな」と感じていますか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号をぬりつぶしなさい。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 僧の立場に立つて | ② ちこの立場に立つて |
| ③ ちこの父の立場に立つて | ④ 第三者の立場に立つて |

(2) なぜ「うたてしやな」と感じていますか。その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号をぬりつぶしなさい。

- ① 僧はちこが「桜が散ることにはかなさを感じている」と感心していたのに、ちこは「麦を育てている父親」を恋しく思っ泣いていたから。
- ② 僧はちこが「桜が散ることにはかなさを感心している」と感心していたのに、ちこは「風で麦の花が散って実がならないこと」に悲しんでいたから。
- ③ 僧はちこが「桜が散ることを通して家族を思っている」と感心していたのに、ちこは「風で麦の花が散って実がならないこと」に悲しんでいたから。
- ④ 僧はちこが「桜が散ることを通して故郷を思っている」と感心していたのに、ちこは「麦を育てている父親」を恋しく思っ泣いていたから。

問六 この話の中で、桜が散る様子についての「僧」と「ちこ」の考え方として、最も適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、番号をぬりつぶしなさい。

「僧」

- ① 桜はすぐに移り変わるものなので、すぐに散ってしまうものである。
- ② 桜はすぐに散ってしまうものだからこそ、素晴らしいものである。
- ③ 桜はすぐに散ってしまうので、散るのを惜しく思うことに風情がある。
- ④ 桜はすぐに移り変わるものだからこそ、咲く瞬間を楽しむものである。

「ちこ」

- ① 父親が育てている麦の花が散る光景を桜を通して見て、故郷をなつかしく思っている。
- ② 父親が育てている麦の収穫に立ち会えないことを悲しく思っている。
- ③ 父親が育てている麦の花が散り、実がつかないことに悲しく思っている。
- ④ 父親が育てている麦の花が散るほどの風が吹くと、穂が倒れてしまうと心配している。